

令和7年度 看護キャリア開発センター通信 年間活動報告

目標

和歌山県内看護師及び保健看護学部生のキャリア支援

桜のつぼみも膨らみ、ようやく春の訪れを感じる季節となりました。今回は総集編として、年間活動報告をお届けします。どうぞ、ご覧ください。

特定行為研修の円滑な運営

地域医療コース（受講期間1年6ヵ月）

- ①第9期生（令和6年4月～令和7年9月）  
11名の受講生（うち編入2名）が、4月から区分別科目研修を受講し、修了することができました。
- ②第10期生（令和7年4月～令和8年9月）  
10名の受講生が、共通科目研修を終えました。令和8年度4月から区分別科目研修に進みます。
- ③第11期生（令和8年4月～令和9年9月）  
6名の受講が決定しており、令和8年度4月から共通科目研修を受講予定です。

急性期医療コース（受講期間1年）

- ①第4期生（令和7年4月～令和8年3月）※附属病院看護師対象  
6名の受講生（うち編入1名）が受講し、共通科目研修と区分別科目研修を経て、全員が3月23日に修了式を迎えることができました。今後の活躍を期待しています。
- ②第5期生  
残念ながら応募がなかったため、次年度の開講は休止となります。特定行為研修に興味をお持ちの方は、再来年度に向けて、ぜひ今からご検討ください。



フォローアップ研修

本学および和歌山県内の修了者を対象として「ナースのためのエコー技術」をテーマに、排泄ケアエコーとエコーガイド下血管穿刺の演習をしました。参加者は14名で、ハンズオン形式で実際に手を動かして、「エコーから得られたデータをどう看護につなげるか」一歩踏み込んで考えることができました。次年度はまた新たなプログラムで、修了生の皆さまのスキルアップを応援します。



指導者講習会

オンデマンド配信による講義とオンライン形式の演習を中心としたリアルタイム研修で、主に近畿圏内から33名の参加がありました。附属病院から認定看護師や修了生の皆さまに、ファシリテーターとしてご協力いただきました。



オンラインオープンキャンパス（地域医療コース向け）

本学特定行為研修に関する情報発信と、受講生の確保を目的に、10月9日に実施しました。参加者は8名で、うち3名から特定行為研修への応募がありました。



県内医療機関への教育ニーズに応じた支援

新宮医療圏にける教育連携事業

2024年度から、新宮医療圏3施設（新宮市立医療センター、那智勝浦町立温泉病院、くしもと町立病院）と連携しています。今年度は「キャリアを語り合おう～看護管理者の役割再発見～」をテーマに、講義およびワークショップを行い、3施設の看護副部長・看護師長・副看護師長・主任の計48名の参加がありました。

今後も引き続き、3施設による研修継続の方針が決定し、教育連携体制が整ったため、当センターの支援は終了となりました。



県内看護職へ研修の提供

オンデマンド研修

附属病院の専門看護師・認定看護師、外来副看護師長の協力を得て、オンデマンド形式で動画を配信（12月～1月）しました。いつでも、どこでも気軽に最新の看護について学ぶことができる、毎年人気の研修となっております。次年度も地域看護の質向上に寄与すべく、本プログラムを配信いたします。



テーマ	申込数
ストーマケア：トラブル対応方法	89
創傷に合わせた軟膏の選び方	108
地域包括ケアについて ～入退院支援の基礎知識～	113
終末期の意思決定支援	112

キャリア支援座談会

今年度は「実習指導の経験を語る」をテーマに、学生指導を担当している3名のスピーカーから、経験から得た学びをナラティブに語っていただきました。計14名（会場11名・Web3名）の参加があり、「学生指導の魅力」を改めて感じる事ができる良い機会となりました。次年度は、今年度実施予定であった副看護師長のキャリア支援をテーマにした企画を進めていきます。



受け入れ研修

附属病院の専門・認定看護師会と連携し、右記プログラムを開催しました。いずれのコースも、参加者の年齢や経験年数は様々ですが、皆さん日々の課題解決に向けて、熱心に学んでいました。



コース名	参加数
感染管理ベーシック（3日間）	6
感染管理アドバンス（4日間）	3
状態変化時の初期対応（半日）	17
がん薬物療法看護（1日間）	5
緩和ケア(1日間)	11

手術看護（出張・受け入れ）相談では、手術看護認定看護師の企画により、①「現場に伺って」相談を受ける形と②「附属病院手術室を見学しながら」相談を受ける形の2種類の形式で実施しています。今年度は②の形で、那賀病院から2名が半日×2日間で参加され、大変好評でした。



受け入れ研修は、いずれも座学のみではなく、現場の見学や実技演習を体験するため、受講者の満足度が高い研修となっておりますので、次年度も継続いたします。

潜在看護師復職支援プログラム

復職を希望している県内の潜在看護職を対象とした研修プログラムで、今年度は4名の申し込みがあり、復職先や働き方のイメージについての面談後、希望する技術トレーニング（採血・静脈路確保）を実施しました。復職に向けた自信がついたと笑顔で話す参加者の姿が印象的でした。



応募は随時受け付け、参加者と日程を調整して実施しています。

保健看護学部生のキャリア支援

ジョブシャドウイング

保健看護学部・附属病院看護部と連携し、令和8年1月および2月の2日間で、保健看護学部3年生を対象に、看護管理者・リーダー・PNSペアのシャドウイングをしました。今年度は、過去最多となる計29名の申し込みがあり、実習よりも間近で看護師の役割を学ぶことで、なりたい看護師像や就職に向けたイメージをもてるようになったという嬉しい声を多くいただきました。



今年度は2日間にエッセンスを凝縮して開催しましたが、アンケートからも昨年度と同様、高い評価を得られましたので、来年度も実施したいと考えています。



ジョブシャドウイング協力病棟											
HCU	7W	7E	8E	9E	10E	11W	12W				
	5W	6E	9W	10W	11E	12E	NICU				

ここまでご覧いただき、ありがとうございました。R8年度も宜しくお祈いします！  
看護キャリア開発センター（3276）今回の担当：西

